

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	市民会館管理運営費							
担 当 課 係 名	仙北市民会館		課	係	作成者	小林正広		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材育成を育む教育文化のまち				総合計画の ページ		
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備						
	主要施策	社会教育施設の充実				96		
予 算 費 目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費	10 目	市民会館費
事 業 期 間	平成 19 年度 ～ 平成 19 年度				新規／継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス		☐ 公共事業		☒ 施設維持管理		☐ 補助金	☐ 内部管理
根 拠 法 令 等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・市民会館法							
事 務 区 分	☒ 自治事務		☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営		☐ 直営（一部民間委託）		☐ 民間委託（全部）		☐ 補 助	

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	一般・小中学校及び高等学校
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	芸術文化の向上と開かれた会館を目指し、個人及び団体を問わず音楽・芸能等に励まれている方々に呼び掛けをして、発表の機会となるよう働きかけてまいりたい。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の管理運営業務を実施する。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
	活動指標	利用回数	日	99	83	
効果		利用人数	人	11,606	13,699	
	成果指標					
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			20,598	15,137	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債				
		そ の 他				
		一 般 財 源		20,598	15,137	
	人 件 費 (B)		—	22,983	22,945	
		職 員 数	—	1.7	1.7	
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		—	43,581	38,082	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—	440,212	458,819	
			—	3,755	2,780	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	1,367	1,213	

【事務事業の今までの成果】

開館以来、文化の殿堂としての重責を担って、各種行事が開催され、市民が自主的に主催する行事が増加しつつ、そうした中から生保内節全国大会が育ち、毎年参加者が200名を超すまでとなりました。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	芸術鑑賞の場を提供できる施設を維持するため。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	稼働率は低いものの、市民への芸術文化の環境機会を提供する場としての施設の必要性は認められるが、管理運営形態についての検討が必要と考える。

一次評価診断図

